

2023.01.21

福岡県宇美町・四王寺山(しおうじやま)のセリバオウレン



2023/01/21 9:39
大原山355m



セリバオウレン (芹葉黄連)
キンポウゲ科

🕒 タイム 📍 距離 ⬆️ 上り ⬆️ 下り
02:13 **3.4 km** **97 m** **225 m**

🚲 平均ペース ⓘ

ややゆっくり
70 ~ 90 %



距離 行動時間 日時



休憩時間 距離 上り / 下り (累積)
39分 **3.4 km** **97 / 225 m**

- 8:43 **S** 増長天礎石群
- 3分
- 8:46
- 8:56
- 38分
- 9:34
- 9:47
- 1時間7分
- 10:54
- 10:55
- 1分
- 10:56 **G** 百間石垣 (デポ地)



・福岡-四王寺山 - 日本山岳会

しおうじやま

大宰府市のすぐ北になだらかに広がる四王寺山は、**最高点のある大城山（410m）**を中心に岩屋山・水瓶山・大原山と呼ばれる4つの山から構成され、総称として四王寺山と呼ばれる。白村江の戦いの翌年である664年、大城山の山頂に古代山城である大野城が設置され、中世には岩屋山の山腹に岩屋城が築かれ、戦国時代末期の岩屋城の戦いの舞台にもなった歴史ある里山。

・四王寺県民の森

石垣と土塁

宇美町・大野城市・太宰府市にまたがる四王寺山にある古代山城です。尾根には土塁、谷には石垣を築いて城壁としており、内部には多くの礎石建物跡があります。国指定特別史跡に指定されており、日本城郭協会が選定した**日本100名城**の1つでもあります。

土塁

城は、**全長約8kmにも及ぶ城壁**で囲まれています。そのほとんどは版築と呼ばれる技法により築かれた土塁で構成されています。

土塁は歩きながらよく観察できます。

上に立って城外を見下ろすと、急斜面になっていて敵は容易に近づくことができないことがよくわかります。



2023/01/21 8:18
百間石垣 (デポ地)



2023/01/21 8:26
焼米ヶ原駐車場入口



2023/01/21 8:27
焼米ヶ原駐車場



2023/01/21 8:31

特別史跡大野城跡 増長天地区

National Special Historical Site
Onojo Fortress Ruins (Zouchouten Area)

令和3(2021)年3月
福岡県教育委員会



「増長天地区」の概要

大野城跡では、これまで複数の時代の建物跡が70棟ほど見つかっており、このうち最も南側に位置する一群を「増長天礎石群」と呼びます。標高約340mの高所にあり、4棟の礎石建物跡のほか、鏡ヶ池と呼ばれる小さな池があります。また、建物跡の背後(南側)の高くなっている場所には大野城の南側の内周土塁がめぐっています。



大野城跡全体図



増長天地区空撮(北から)



増長天地区の建物配置図

4棟の建物は、いずれも瓦葺きの高床式の倉庫です。出土した瓦や土器から、大野城の築城から半世紀ほど過ぎた8世紀前半に北側の3棟が建てられ、少し時代が遅れて南端の1棟が加えられたと推定されます。9世紀ごろまでは補修が行われますが、10世紀には役目を終えたようです。

「増長天」とは？

宝亀5(774)年、国外からの災いを払うため、城内に四天王寺(四王寺、四王院)が建立され、仏法を守る毘沙門天・持国天・増長天・広目天の四天王の像がまつられました。増長天は南を守る神の名で、いつの頃からか四王寺山の南側で最も高所にあるこの場所が、増長天と呼ばれるようになりました。

未解明の鏡ヶ池

鏡ヶ池は、土手で囲まれた直径7mほどの小さな池ですが、日照りが続いても水が枯れない池といわれ、鏡を投げ入れ雨乞いしたという伝承もあります。大野城の城内に水を確保するため造られたと考えられますが、まだまだ多くの謎につままれています。



鏡ヶ池

2023/01/21 8:34

特別史跡 大野城跡 増長天地区

当地は城の南東部で、太宰府口城門に近い内部土塁のすぐ内側である。4棟の高床建物（倉庫）跡が一行に並んで残っている。傾斜地を利用しているため石垣を作り、上段と下段に区切り各段に2棟ずつ配置している。下段建物の西側に鏡ヶ池と呼ばれる小窪地がありどんな湯水期でも水が絶えないという、大野城の井戸跡ではないかとも考えられる。

増長天という地名は、奈良時代に城の西端部の鼓峯（410m）を中心に作られた四王院に由来するものであろう。

建物の広さは梁行6.3m桁行10.5mである。





2023/01/21 8:35
増長天礎石群



2023/01/21 8:36
増長天礎石群



シャシャンボ

ツツジ科

常緑低木でよく分枝する
花は5-7月で総状花序の白
色の花を下向きに作り、花は
黒く熟した果実が食べられる



四王寺こもれび会

エフオーブ環境教育センター



2023/01/21 8:41
鏡ヶ池



2023/01/21 8:52
焼米ヶ原駐車場



耳 納 連 山

2023/01/21 8:53



九州国立博物館

2023/01/21 8:54



宝満山829m

2023/01/21 8:55

2023/01/21 9:00

大野城跡と四王寺山

四王寺山の名で親しまれるこの山は昔、大野山とも呼ばれ、万葉集にも歌われています。665年には、この山頂全体を城とする大野城が築かれ、大宰府を守る役目を果しました。延々続く尾根はその時の土の城壁であり、所々に石垣や倉庫跡の礎石も残っています。後に四王寺という寺も建てられました。

福岡県 90

焼
米
ヶ
原

大野城跡と四王寺山

四王寺山の名で親しまれるこの山は昔、大野山とも呼ばれ、万葉集にも歌われていました。665年には、この山頂全体を城とする大野城が築かれ、大宰府を守る役目を果しました。延々続く尾根はその時の土の城壁であり、所々に石垣や倉庫跡の礎石も残っています。後に四王寺という寺も建てられました。

福岡県

90



ジョウビタキ (尉鷯) メス
ヒタキ科 L=14cm



脊振山1055m

2023/01/21 9:06



若杉山681m

砥石山826m

2023/01/21 9:06



若杉山681m

2023/01/21 9:07

九千部山(くせんぶさん)848m

脊振山1055m

2023/01/21 9:08

九千部山(くせんぶさん)848m

2023/01/21 9:08

脊振山1055m

2023/01/21 9:08

ナワシログミ



ナワシログミ(苗代菜萁)
グミ科 常緑低木



ナワシログミ(苗代菜萁)
グミ科 常緑低木



2023/01/21 9:16



ツワブキ(艶薺) キク科



ツワブキ(艶薔)
キク科



2023/01/21 9:20
遠見所

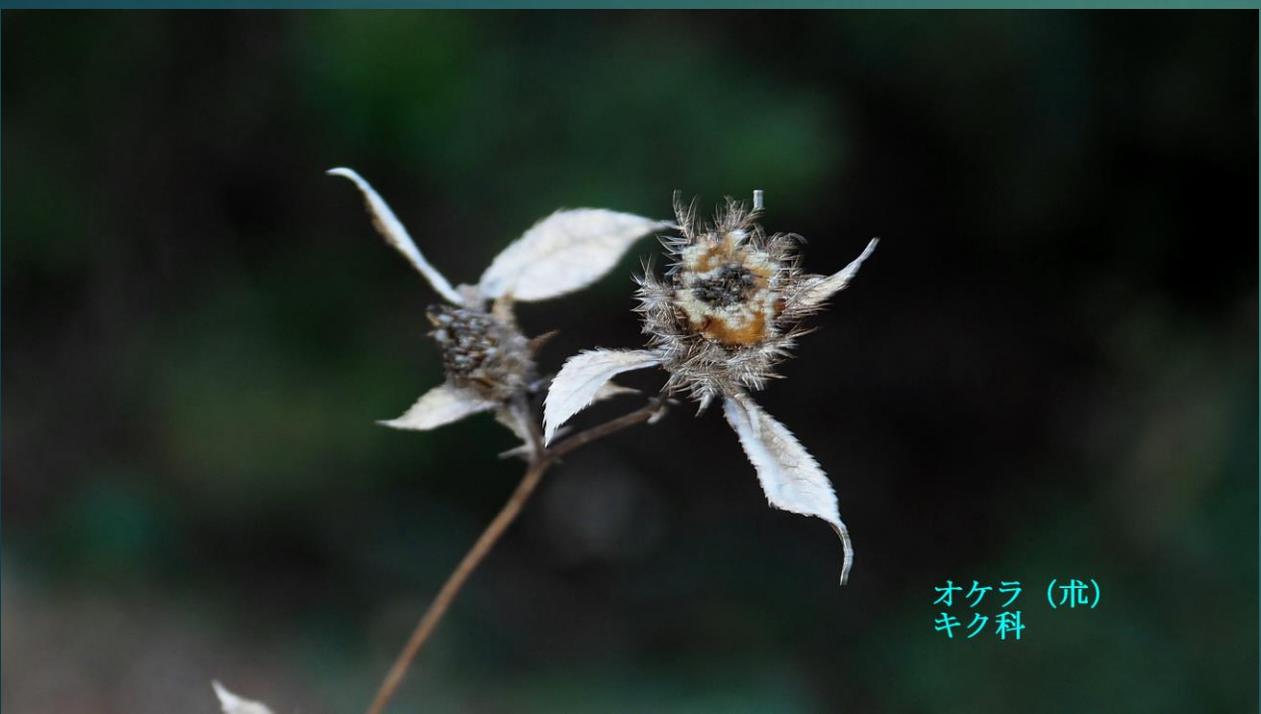
遠見所



立花山(たちばなやま)367m

2023/01/21 9:22

遠見所から





ツワブキ(艶蔭)
キタ科



2023/01/21 9:33
馬のこうね(たてがみ)



2023/01/21 9:44
大原山355m



セリバオウレン
(芹葉黃連)
キンポウゲ科



セリバオウレン
(芹葉黃連)
キンポウゲ科



セリバオウレン (芹葉黃連)
キンポウゲ科



セリバオウレン (芹葉黃連)
キンポウゲ科



フユイチゴ(冬苺)
バラ科



2023/01/21 10:33
小石垣

小石垣



2023/01/21 10:36
小石垣

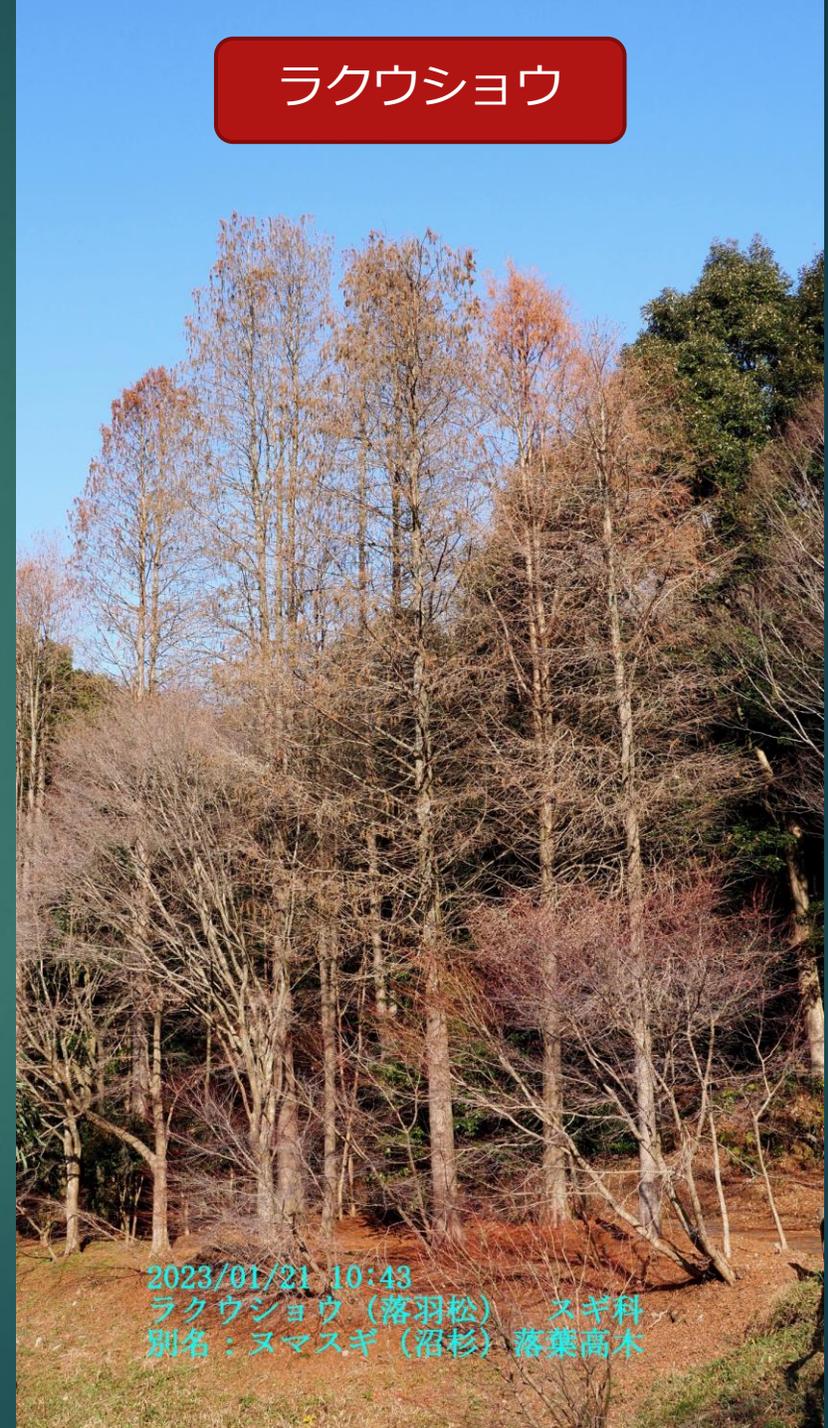
ラクウショウ



2023/01/21 10:37



オオバヤシャブシ (大葉夜叉倍子)
カバノキ科



2023/01/21 10:43
ラクウショウ (落羽松) スギ科
別名: スマスギ (沼杉) 落葉高木

ラクウショウ



ラクウショウの気根



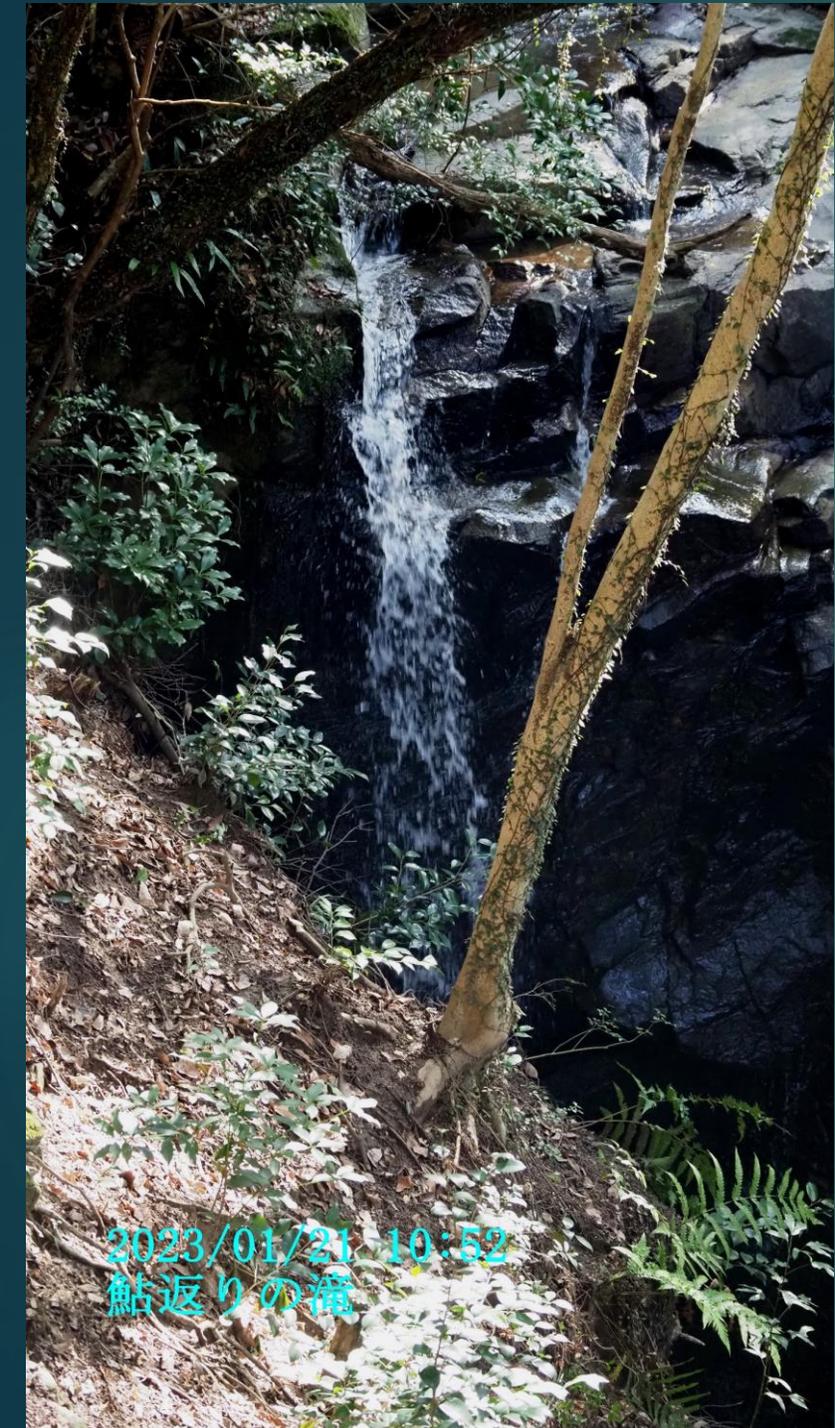
ラクウショウの気根



2023/01/21 10:48 クヌギ林



2023/01/21 10:51
鮎返りの滝



2023/01/21 10:52
鮎返りの滝



2023/01/21 10:52
鮎返りの滝



サザンカ (山茶花)
ツバキ科



2023/01/21 11:01
百閒石垣駐車スペースに到着
2時間13分の行動時間



2023/01/21 11:02
百間石垣

END